

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29~R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点																																												
<p>高知県公立大学法人は、高知県立大学、高知工科大学及び高知短期大学（以下「大学」という。）を設置し、及び管理する法人であり、地域に開かれた教育研究の拠点として教育研究活動を行い、その成果を社会に還元することで、地域社会の活性化及び国際社会の発展に貢献することを目的とする。</p> <p>この目的を実現するために、第2期中期目標期間においては、大学は、これまでの業務の継続にとどまることなく、社会の変化や県民のニーズを踏まえ、大学の機能強化を図り、業務運営を行う必要がある。</p> <p>また、平成27年4月の法人統合の効果が十分に発揮されるよう、大学間の連携・協働した取組を進めるとともに、これまで以上に効率的・効果的な組織運営を行っていく必要がある。</p> <p>高知県は、高知県公立大学法人（以下「法人」という。）が自主的かつ自律的な大学運営を行い、より一層県民の期待及び負託に応えていくよう、この中期目標を定め、法人に指示するものである。</p>	<p>＜全体＞</p> <p>各大学においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定員を上回る入学者（R3.5.1）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="890 468 1341 606"> <thead> <tr> <th></th> <th>収容定員</th> <th>在学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大（学士）</td> <td>1,376人</td> <td>1,468人</td> </tr> <tr> <td>工科大（学士）</td> <td>2,100人</td> <td>2,300人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い就職率</li> </ul> <table border="1" data-bbox="872 693 1412 879"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>98.9%</td> <td>98.3%</td> <td>99.0%</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>工科大(学士)</td> <td>97.0%</td> <td>97.5%</td> <td>95.8%</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大(修士)</td> <td>97.9%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い科研費の新規採択率</li> </ul> <table border="1" data-bbox="872 968 1412 1106"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>43.1%</td> <td>32.1%</td> <td>32.2%</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大</td> <td>39.8%</td> <td>31.1%</td> <td>33.3%</td> <td>22.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全国の国公立大学の平均採択率は27.4%（R2）</p> <p>など、様々な指標において、十分な実績を残しており、中期目標に定めた事項を着実に実施していると判断され、中期目標を達成する見込みである。</p>		収容定員	在学者数	県立大（学士）	1,376人	1,468人	工科大（学士）	2,100人	2,300人		H29	H30	R1	R2	県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%	工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%	工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%		H29	H30	R1	R2	県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%	工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%	<p>高知県公立大学法人（以下「法人」という。）は、高知県立大学及び高知工科大学を設置し、管理する法人であり、地域に開かれた教育研究の拠点として教育研究活動を行い、その成果を社会に還元することで、地域社会の活性化、産業の振興、医療・福祉の充実及び国際社会の発展に貢献することを目的とする。</p> <p>この目的を実現するために、第3期中期目標期間において、大学は、これまでの業務の継続にとどまることなく、<u>新しい時代の原動力</u>となる「<u>デジタル化</u>」、「<u>グリーン化</u>」、「<u>グローバル化</u>」、「<u>SDGs</u>（<u>持続可能な開発目標</u>）」の推進等、社会の変化や県民のニーズを踏まえ、大学の機能強化を図り、業務運営を行う必要がある。</p> <p>また、<u>ガバナンスの強化</u>を図り、<u>二つの大学の特徴を生かして</u>大学間の連携・協働をさらに進めるとともに、これまで以上に効率的かつ効果的な組織運営を行っていく必要がある。</p> <p>高知県は、法人が自主的かつ自律的な大学運営を行い、より一層県民の期待及び負託に応えていくよう、この中期目標を定め、法人に指示するものである。</p>	<p>「<u>デジタル化</u>」「<u>グリーン化</u>」「<u>グローバル化</u>」「<u>SDGs</u>」 県の重要な取り組みへの対応について記載</p> <p>「<u>ガバナンス強化</u>」「<u>2大学の特徴を生かす</u>」 法人統合の効果の発揮と1法人に2大学あるという強みを生かしていくことを記載</p>
	収容定員	在学者数																																													
県立大（学士）	1,376人	1,468人																																													
工科大（学士）	2,100人	2,300人																																													
	H29	H30	R1	R2																																											
県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%																																											
工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%																																											
工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%																																											
	H29	H30	R1	R2																																											
県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%																																											
工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%																																											
<p><b>第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</b></p> <p>1 中期目標の期間 平成29年4月1日から令和5年3月31日までの6年間とする。</p> <p>2 教育研究上の基本組織</p> <p>(1) 中期目標を達成するため、法人に次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <table border="1" data-bbox="112 1648 557 1894"> <thead> <tr> <th>大学</th> <th>学部等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高知県立大学</td> <td>文化学部</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学部</td> </tr> </tbody> </table>	大学	学部等	高知県立大学	文化学部	看護学部	社会福祉学部		<p><b>第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</b></p> <p>1 中期目標の期間 <u>令和5年4月1日から令和11年3月31日</u>までの6年間とする。</p> <p>2 教育研究上の基本組織</p> <p>(1) 中期目標を達成するため、法人に次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <table border="1" data-bbox="1495 1648 1941 1894"> <thead> <tr> <th>大学</th> <th>学部等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高知県立大学</td> <td>文化学部</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学部</td> </tr> </tbody> </table>	大学	学部等	高知県立大学	文化学部	看護学部	社会福祉学部																																	
大学	学部等																																														
高知県立大学	文化学部																																														
	看護学部																																														
	社会福祉学部																																														
大学	学部等																																														
高知県立大学	文化学部																																														
	看護学部																																														
	社会福祉学部																																														

第2期中期目標		第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点																			
<div data-bbox="112 201 555 669"> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科</td> </tr> <tr> <td>高知工科大学</td> <td>システム工学群 環境理工学群 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科</td> </tr> </table> </div>		健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科	高知工科大学	システム工学群 環境理工学群 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科		<div data-bbox="1495 201 1938 669"> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科</td> </tr> <tr> <td>高知工科大学</td> <td>システム工学群 <u>理工学群</u> 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科</td> </tr> </table> </div>		健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科	高知工科大学	システム工学群 <u>理工学群</u> 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科	<div data-bbox="2220 321 2564 432"> <p>「学群の名称変更」 環境理工学群→理工学群</p> </div>												
	健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科																						
高知工科大学	システム工学群 環境理工学群 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科																						
	健康栄養学部 看護学研究科 人間生活学研究科																						
高知工科大学	システム工学群 <u>理工学群</u> 情報学群 経済・マネジメント学群 マネジメント学部 (注) 工学研究科																						
<p>注 高知工科大学マネジメント学部は平成27年度入学生から学生の募集を停止しており、在学生の卒業後に廃止する。</p> <p>(2) 高知工科大学においては、県内各産業分野におけるデジタル化及びDX (デジタルトランスフォーメーション) の推進に貢献する新たな学群の設置に向け、その準備を進める。</p>		<p>注 高知工科大学マネジメント学部は平成27年度入学生から学生の募集を停止しており、在学生の卒業後に廃止する。</p> <p>(2) 高知工科大学においては、県内各産業分野におけるデジタル化及びDX (デジタルトランスフォーメーション) の推進に貢献する新たな学群を令和6年度に設置することを旨とする。</p>	<div data-bbox="2220 758 2822 890"> <p>「新学群」 設置年度の令和6年度を記載</p> </div>																				
<p><b>第2 大学の教育研究の質の向上に関する目標</b></p> <p>1 教育の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 高知県立大学</p> <p>ア 教育の内容及び養成する人材に関する目標</p> <p>(ア) 学士課程</p> <p>幅広い教養、高度な専門知識及び豊かな人間性を備え、グローバルな視点と地域への視点とを併せ持ち、広く国内外で活躍することができる能力を有するとともに、社会に貢献することができる人材を育成するため、教育内容の充実を図る。</p> <p>(イ) 大学院課程</p> <p>高度な専門知識及び創造性豊かな優れた研究・実践能力を持つとともに、グローバルな視点を持って地域社会の問題をはじめ、国内外の諸課題を解決することができる能力を備えた専門的職業人及び研究者を育成するため、教育内容の充実を図る。</p> <p>イ 教育の実施体制に関する目標</p> <p>高知県立大学の理念に沿った教育を提供するため、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) 及び教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) に基づいた、教育の実施体制の充実を図る。</p>	<div data-bbox="834 947 1457 1906"> <p>&lt;教育&gt; (県立大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から「地域共生推進士養成プログラム」を開始し専門分野を生かして地域で活躍できる人材の育成を行った。</li> <li>(H30: 7名、R1: 3名、R2: 7名)</li> <li>県内企業との連携や学生への効果的な情報提供により、高い就職率を維持した。</li> </ul> <p>【就職率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>98.9%</td> <td>98.3%</td> <td>99.0%</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>工科大(学士)</td> <td>97.0%</td> <td>97.5%</td> <td>95.8%</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大(修士)</td> <td>97.9%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い国家試験合格率を維持した。</li> </ul> <p>【国家試験合格率】(R2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護師: 100% (全国平均 89.2%)</li> <li>助産師: 100% (全国平均 99.4%)</li> <li>保健師: 100% (全国平均 91.5%)</li> <li>社会福祉士: 77.9% (全国平均: 29.3%)</li> <li>精神保健福祉士: 100% (全国平均 64.2%)</li> <li>介護福祉士: 100% (全国平均 71.0%)</li> <li>管理栄養士: 95.0% (全国平均: 61.9%)</li> </ul> </div>		H29	H30	R1	R2	県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%	工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%	工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%	<p><b>第2 大学の教育研究の質の向上に関する目標</b></p> <p>1 教育の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 高知県立大学</p> <p>ア 教育の内容及び養成する人材に関する目標</p> <p><u>変化する社会の要請に応えながら、教育プログラムの運営を適切に行うとともにその内容を充実・発展させていく。</u></p> <p><u>また、大学の理念及び教育の方針に基づき、「幅広い教養と専門的な知識を活用して課題をグローバルで複眼的な観点から分析し探求できる人材」、「地域の文化の発展と健康・福祉の向上に向けて活躍できる人材」、「地域志向の教育を通して、地域社会や現場の課題を人々と協働して解決できる人材」を育成する。加えて、大学院では「専門性に基づいて変革をもたらす実践的な知のプロフェッショナル (高度専門職業人・研究者・教育者)」を育成する。</u></p> <p>イ 教育の実施体制に関する目標</p> <p>高知県立大学の教育及び人材育成に関する理念及び方針に沿った教育を提供するため、<u>教員の教育能力の向上及びICTを活用した教育環境の整備など教育の実施体制の充実を図る。</u></p>	<div data-bbox="2220 947 2822 1142"> <p>中期計画において数値目標 (KPI) の設定を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職率</li> <li>国家試験合格率</li> <li>高等学校教員への説明会開催件数 (訪問学校数)</li> </ul> </div> <div data-bbox="2220 1220 2843 1457"> <p>「デジタル化」「グローバル化」「地域貢献」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変化する社会の要請に応えることも記載</li> <li>地域へ貢献する人材育成を具体的に記載</li> </ul> </div> <div data-bbox="2220 1486 2843 1661"> <p>「デジタル化」</p> <p>デジタル化に対応した環境整備を記載</p> </div>
	H29	H30	R1	R2																			
県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%																			
工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%																			
工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%																			

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点								
<p>ウ 教育の国際化に関する目標</p> <p>豊かな国際感覚を備えた人材を育成するため、教育・研究のグローバル化を図るとともに、留学生の受け入れや学生の留学を促進する。また、日本人学生と留学生との交流を活性化するための方策の検討を行う。</p> <p>エ 学生支援に関する目標</p> <p>学生が安心して健康な大学生活を過ごし、豊かな人間性、社会性等を養い、社会に有為な職業人として成長できるよう、多様な学生ニーズに対応した学生支援を行うとともに、学生の生活拠点の在り方について検討を行う。</p> <p>また、学生が望む進路実現に向けた支援を実施するとともに、県内企業への就職を促進する。</p> <p>オ 学生の受け入れに関する目標</p> <p>広報活動を積極的に行うとともに、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、選抜方法の工夫及び改善を図り、高知県立大学で学ぶにふさわしい学生の確保に努める。</p> <p>また、県内高等学校との連携を強化し、県内高校生の受け入れを促進する。</p> <p>大学院課程においては、多様な入試制度などにより、社会人及び留学生の受け入れを促進する。</p> <p>カ 社会人教育の強化に関する目標</p> <p>社会のニーズに対応するため、社会人入試制度を継続するとともに、働きながら学ぶことができる環境を整備し、大学の専門分野を生かした学び直しの場を提供する。</p> <p>キ 大学間連携に関する目標</p> <p>高知県立大学と高知工科大学とにおける単位互換制度をはじめとした教育での連携を推進するとともに、学生支援や就職支援における情報共有等を適切かつ効果的に行うことで、学生支援機能の向上を図る。</p>	<p>・平成28年度に国際交流センターを設置し、留学生の受け入れや学生の留学を促進した。</p> <p>【留学生受け入れ人数】</p> <table border="1" data-bbox="869 380 1341 567"> <tr> <td></td> <td>H27→H29</td> </tr> <tr> <td>留学生</td> <td>5人→15人</td> </tr> <tr> <td>短期留学生</td> <td>24人→44人</td> </tr> <tr> <td>留学派遣学生</td> <td>22人→50人</td> </tr> </table> <p>・学生の生活拠点となる新たな学生寮が整備された。(R3)</p> <p>・高校を訪問し、教員へ大学の情報を提供し、学生の確保に努めた。</p> <p>【高校訪問件数】</p> <p>R2：47校（県内32校、県外15校）</p>		H27→H29	留学生	5人→15人	短期留学生	24人→44人	留学派遣学生	22人→50人	<p>ウ 教育の国際化に関する目標</p> <p>豊かな国際感覚を備えた人材を育成するため、留学生の受け入れや学生の留学を促進し、<u>国際社会や異文化への理解を深める機会を積極的に提供するなど、学生の国際性を高める取り組みを実施する。</u></p> <p>エ 学生支援に関する目標</p> <p>学生が安心して健康な大学生活を過ごし、豊かな人間性、社会性等を養い、社会に有為な職業人として成長できるよう、多様な学生ニーズに対応した学生支援を行う。</p> <p>また、学生が望む進路実現に向けた支援を実施するとともに、<u>県内企業等と一層の連携強化を図り、県内への就職を促進する。</u></p> <p>オ 学生の受け入れに関する目標</p> <p>広報活動を積極的に行うとともに、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に基づき、<u>入試制度を常に見直し、改善を図り、高知県立大学で学ぶにふさわしい学生の確保に努める。</u></p> <p>また、<u>働きながら学ぶことができる環境の充実を図り、社会人の受け入れを促進する。</u></p> <p><u>さらに、県内高等学校との交流の機会を増やすとともに、連携を強化し、県内高校生の受け入れを促進する。</u></p> <p>カ 社会人教育の強化に関する目標</p> <p><del>社会のニーズに対応するため、社会人入試制度を継続するとともに、働きながら学ぶことができる環境を整備し、大学の専門分野を生かした学び直しの場を提供する。</del></p> <p>キ 大学間連携に関する目標</p> <p>高知県立大学と高知工科大学の教員による授業科目の相互担当や単位互換制度の活用等、<u>両大学の特徴を生かして教育での連携を推進するとともに、学生支援や就職支援における情報共有等を適切かつ効果的に行うことで、学生支援機能の向上を図る。</u></p>	<p><u>「グローバル化」</u></p> <p>両大学の記載を統合し、充実した内容を記載。</p> <p><u>※項目の整理</u></p> <p>正規生としての社会人教育は、この項目に整理。</p> <p><u>※項目の整理</u></p> <p>正規生としての社会人教育は「オ 学生の受け入れに関する目標」に、正規生以外は「3（3）社会人の学び直し及び生涯学習の充実に関する目標」に整理。</p> <p><u>「2大学の特徴を生かす」</u></p> <p>・2大学の特徴を生かしていくことを記載</p>
	H27→H29										
留学生	5人→15人										
短期留学生	24人→44人										
留学派遣学生	22人→50人										

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点																				
<p>(2) 高知工科大学</p> <p>ア 教育の内容及び養成する人材に関する目標</p> <p>高い専門性に基づき学士課程及び大学院を通じて来るべき社会に活躍できる人材の育成を目指し、時代や社会の変化に対応できる深く幅広い知識及び教養並びに創造的思考力を備えることができるよう、教育内容の充実を図る。</p> <p>イ 教育の実施体制に関する目標</p> <p>高知工科大学の理念に沿った教育を提供するため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づいた、教育の実施体制の充実を図る。</p> <p>ウ 教育の国際化に関する目標</p> <p>社会の変化に対応し、世界で活躍できる人材を育成するため、学生の語学力の向上を図り、留学生の受け入れや学生の留学の促進など国際社会や異文化への理解を深める機会を積極的に提供するなど、学生の国際性を高める取組を実施する。</p> <p>エ 学生支援に関する目標</p> <p>学生が安心して健康な大学生活を過ごし、豊かな人間性、社会性等を養い、社会に有為な職業人として成長できるよう、多様な学生のニーズに対応した学生支援を行うとともに、学生の生活拠点の在り方について検討を行う。</p> <p>また、学生が望む進路実現に向けた支援を実施するとともに、県内企業への就職を促進する。</p> <p>オ 学生の受け入れに関する目標</p> <p>広報活動を積極的に行うとともに、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、選抜方法の工夫及び改善を図り、高知工科大学で学ぶにふさわしい学生の確保に努める。また、県内高等学校との連携を強化し、県内高校生の受け入れを促進する。</p> <p>大学院課程においては、多様な入試制度などにより、社会人及び留学生の受け入れを促進する。</p> <p>カ 社会人教育の強化に関する目標</p> <p>社会のニーズに対応するため、社会人入試制度を継続するとともに</p>	<p>&lt;教育&gt; (工科大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最短5年で修士課程を修了する仕組みを構築し、学士課程と修士課程の一貫教育を推進した。(R3から実施)</li> <li>【大学院進学率】 R2：工学系3学群 35%</li> <li>英語学習コンテンツのシステムへの掲載など学習意欲を高める取り組みを行い、グローバル人材を育成した。</li> <li>【TOEIC-IP 平均点】 H31：411点、R1：433点、R2：447点</li> <li>国際交流協定締結大学を増やし、交換留学先の充実を図った。</li> <li>【協定校】 H29：40校→ R2：53校</li> <li>新しい学生寮を建て、学生の生活拠点と交流の場を確保した。</li> <li>県内企業との連携や学生への効果的な情報提供により、高い就職率を維持した。</li> <li>【就職率】</li> </ul> <table border="1" data-bbox="863 1010 1421 1194"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>98.9%</td> <td>98.3%</td> <td>99.0%</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>工科大(学士)</td> <td>97.0%</td> <td>97.5%</td> <td>95.8%</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大(修士)</td> <td>97.9%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校教員向け説明会を実施し、学生の確保に努めた。</li> <li>【高校教員向け説明会実施回数】 R2：26回 217校参加</li> </ul>		H29	H30	R1	R2	県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%	工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%	工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%	<p>(2) 高知工科大学</p> <p>ア 教育の内容及び養成する人材に関する目標</p> <p><u>グローバル化やデジタル化の進展等、時代や社会の変化を俯瞰し、柔軟に対応できる、深い専門知識と幅広い教養、創造的思考力を備えた「来るべき社会に活躍できる人材」を学士課程及び大学院を通じて育成するため、教育内容の充実を図る。</u></p> <p>イ 教育の実施体制に関する目標</p> <p><u>高知工科大学の教育及び人材育成に関する理念に沿った教育を提供するため、教育効果の向上に向けた施策、ICTを活用した教育環境の整備などにより、教育の実施体制の充実を図る。</u></p> <p>ウ 教育の国際化に関する目標</p> <p><u>豊かな国際感覚を備えた人材を育成するため、留学生の受け入れや学生の留学を促進し、国際社会や異文化への理解を深める機会を積極的に提供するなど、学生の国際性を高める取り組みを実施する。</u></p> <p>エ 学生支援に関する目標</p> <p>学生が安心して健康な大学生活を過ごし、豊かな人間性、社会性等を養い、社会に有為な職業人として成長できるよう、多様な学生ニーズに対応した学生支援を行う。</p> <p>また、学生が望む進路実現に向けた支援を実施するとともに、<u>県内企業等と一層の連携強化を図り、県内への就職を促進する。</u></p> <p>オ 学生の受け入れに関する目標</p> <p>広報活動を積極的に行うとともに、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に基づき、<u>入試制度を常に見直し、改善を図り、高知工科大学で学ぶにふさわしい学生の確保に努める。</u></p> <p>また、<u>働きながら学ぶことができる環境の充実を図り、社会人の受け入れを促進する。</u></p> <p><u>さらに、県内高等学校との交流の機会を増やすとともに、連携を強化し、県内高校生の受け入れを促進する。</u></p> <p>カ 社会人教育の強化に関する目標</p> <p>社会のニーズに対応するため、<u>社会人入試制度を継続するとともに、</u></p>	<p>中期計画において数値目標（KPI）の設定を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職率</li> <li>大学院進学率</li> <li>高等学校教員への説明件数（訪問学校数）</li> </ul> <p>「グローバル化」「デジタル化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「グローバル化やデジタル化の進展」など社会の変化に対応する人材を育成していくことを記載</li> </ul> <p>「デジタル化」</p> <p>デジタル化に対応した環境整備を記載</p> <p>「グローバル化」</p> <p>両大学の記載を統合し、充実した内容を記載。</p> <p>※項目の整理</p> <p>正規生としての社会人教育は、この項目に整理。</p>
	H29	H30	R1	R2																			
県立大	98.9%	98.3%	99.0%	98.7%																			
工科大(学士)	97.0%	97.5%	95.8%	95.3%																			
工科大(修士)	97.9%	100%	100%	100%																			

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点															
<p>に、働きながら学ぶことができる環境を整備し、大学の専門分野を生かした学び直しの場を提供する。</p> <p>キ 大学間連携に関する目標</p> <p>高知県立大学と高知工科大学とにおける単位互換制度をはじめとした教育での連携を推進するとともに、学生支援や就職支援における情報共有等を適切かつ効果的に行うことで、学生支援機能の向上を図る。</p>	<p>働きながら学ぶことができる環境を整備し、大学の専門分野を生かした学び直しの場を提供する。</p> <p>キ 大学間連携に関する目標</p> <p>高知県立大学と高知工科大学の教員による授業科目の相互担当や単位互換制度の活用等、両大学の特徴を生かして教育での連携を推進するとともに、学生支援や就職支援における情報共有等を適切かつ効果的に行うことで、学生支援機能の向上を図る。</p>	<p>働きながら学ぶことができる環境を整備し、大学の専門分野を生かした学び直しの場を提供する。</p> <p>キ 大学間連携に関する目標</p> <p>高知県立大学と高知工科大学の教員による授業科目の相互担当や単位互換制度の活用等、両大学の特徴を生かして教育での連携を推進するとともに、学生支援や就職支援における情報共有等を適切かつ効果的に行うことで、学生支援機能の向上を図る。</p>	<p><b>※項目の整理</b></p> <p>正規生としての社会人教育は「オ 学生の受け入れに関する目標」に、正規生以外は「3 (3) 社会人の学び直し及び生涯学習の充実に関する目標」に整理。</p> <p><b>「2 大学の特徴を生かす」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 大学の特徴を生かしていくことを記載</li> </ul>															
<p>2 研究の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 高知県立大学</p> <p>ア 研究成果等に関する目標</p> <p>学術的専門性を追求する研究、地域課題の解決に寄与する研究、産業界との連携による学際的研究及び国際的共同研究に取り組み、国内外に向けて高い水準の研究成果を発信し、社会に還元する。</p> <p>イ 研究の実施体制に関する目標</p> <p>優れた研究組織として発展するために、組織の弾力化や研究活動を支援する体制を整え、人的及び物的資源の重点投資を行い、地域社会の研究拠点としての機能を発揮する。</p>	<p>&lt;研究&gt; (県立大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業の採択率について高い水準を維持し、外部資金の獲得を行うとともに、その成果を社会に還元した。</li> </ul> <p><b>【科研費の新規採択率】</b></p> <table border="1" data-bbox="875 919 1418 1060"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 9</th> <th>H 3 0</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>43.1%</td> <td>32.1%</td> <td>32.2%</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大</td> <td>39.8%</td> <td>31.1%</td> <td>33.3%</td> <td>22.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全国の国公立大学の平均採択率は 27.4% (R 2)</p> <p><b>【研究成果の発信】</b></p> <p>R 2 : 論文 168 件、199 発表</p>		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%	工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%	<p>2 研究の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 高知県立大学</p> <p>ア 研究成果等に関する目標</p> <p>学術的専門性を追求する研究、地域課題の解決に寄与する研究、産業界との連携による学際的研究及び国際的共同研究に取り組み、国内外に向けて高い水準の研究成果を発信し、<u>地域や社会</u>に還元する。</p> <p>イ 研究の実施体制に関する目標</p> <p>優れた研究組織として発展するために、組織の弾力化や研究活動を支援する体制を整え、人的及び物的資源の重点投資を行い、地域社会の研究拠点としての機能を発揮する。</p>	<p>中期計画において数値目標 (KPI) の設定を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部資金獲得件数 (科学研究費助成事業採択率)</li> <li>・ 論文等発表数</li> </ul> <p><b>「地域貢献」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域への貢献を明記</li> </ul>
	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2														
県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%														
工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%														
<p>(2) 高知工科大学</p> <p>ア 研究成果等に関する目標</p> <p>先端的分野及び学際的分野を含めた様々な専門分野において、産業界との連携も含め、持続的かつ高度な研究を行い、世界に通用する研究成果を上げるとともに、その成果を社会に還元する。</p> <p>イ 研究の実施体制に関する目標</p> <p>知の最先端を目指して世界に通用する研究を実施するため、組織体制を整え、人的及び物的資源の重点投資を行う。</p> <p>また、地域の課題に対応する研究機関としての機能を発揮する。</p>	<p>&lt;研究&gt; (工科大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業の採択率について大型研究費への積極的に挑戦を行い、採択率を維持するとともに、外部資金を獲得し、成果を世界に発信し、社会還元を行った。</li> </ul> <p><b>【科研費の採択率】</b></p> <table border="1" data-bbox="875 1459 1418 1600"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 9</th> <th>H 3 0</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立大</td> <td>43.1%</td> <td>32.1%</td> <td>32.2%</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>工科大</td> <td>39.8%</td> <td>31.1%</td> <td>33.3%</td> <td>22.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全国の国公立大学の平均採択率は 27.4% (R 2)</p> <p><b>【世界最大級の論文掲載サイトへの論文登録】</b></p> <p>H 2 9 ~ R 2 : 872 件</p> <p><b>【国際学会での発表】</b> H 2 9 から R 2 : のべ 292 回</p>		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%	工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%	<p>(2) 高知工科大学</p> <p>ア 研究成果等に関する目標</p> <p>先端的分野及び学際的分野を含めた様々な専門分野において、産業界との連携も含め、持続的かつ高度な研究を行い、世界に通用する研究成果を上げるとともに、その成果を<u>地域や社会</u>に還元する。</p> <p>イ 研究の実施体制に関する目標</p> <p>知の最先端を目指して世界に通用する研究を実施するため、組織体制を整え、人的及び物的資源の重点投資を行う。</p> <p>また、地域の課題に対応する研究機関としての機能を発揮する。</p>	<p>中期計画において数値目標 (KPI) の設定を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部資金獲得件数 (科学研究費助成事業採択率)</li> <li>・ 論文等発表数</li> </ul> <p><b>「地域貢献」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域への貢献を明記</li> </ul>
	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2														
県立大	43.1%	32.1%	32.2%	40.3%														
工科大	39.8%	31.1%	33.3%	22.3%														

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点
<p>3 社会貢献の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 地域社会との連携に関する目標</p> <p>地域社会との連携を図るとともに、大学の専門性に基づいた社会貢献を推進する。</p> <p>高知県立大学では、地域の現状を踏まえ、域学共生の理念のもとに、健康長寿県づくり、中山間対策など、地域における課題の解決や地域の再生・活性化につながる事業を、地域住民と協働して推進する。</p> <p>高知工科大学では、地域連携機構を中心に、地域や行政と連携し、工学及び経済・マネジメント学など多彩な分野の研究内容をもって、地域の活性化につなげる活動を推進する。</p> <p>(2) 産学官民連携に関する目標</p> <p>高知県が設置する産学官民連携の拠点などとの連携を積極的に行い、産業振興及び地域の課題解決に向けた活動を行う。</p> <p>高知県立大学では、超高齢社会への移行など、社会環境の急激な変化に伴う新たな保健・医療・福祉ニーズに対応するため、専門職者に対する現職教育やキャリア形成の支援を行い、地域の人材育成に寄与する。</p> <p>高知工科大学では、工学及び経済・マネジメント学に基づいた研究成果を広く公開し、関係機関、行政等と連携して活用を図ることなどを通じて、産業振興及び地域の課題解決に向けた活動を推進する。</p> <p>(3) 生涯学習の充実に関する目標</p> <p>「知の拠点」として、県民一般を対象とした多様な公開講座や、県民の課題解決のニーズに対応した生涯学習の機会を提供する。</p> <p>高知県立大学では、社会人のニーズに対応した体系的・継続的で多様な生涯学習プログラムを提供して、県民の学び直しの機会の更なる充実・強化を図る。</p> <p>(4) 県内の大学及び高等学校等との連携に関する目標</p> <p>地域における高等教育の充実、社会貢献並びに未来を担う児童及び生徒の学問に対する興味・関心の向上及び進路選択に資するため、県内の大学及び高等学校等との交流及び連携を積極的に実施する。</p>	<p>&lt;社会貢献&gt; (県立大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度から「高知県中山間地域等訪問看護師育成講座」を開催し、訪問看護師の確保・育成を行った。</li> </ul> <p>【講座受講者数】</p> <p>H 2 9 : 28 名、H 3 0 : 21 名、R 1 : 20 名、R 2 : 15 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度から「入退院支援事業」における研修を実施し、医療・介護・福祉職における人材育成を行った。</li> </ul> <p>【研修受講者数】</p> <p>H 2 9 : 749 名、H 3 0 : 1,111 名、R 1 : 855 名、R 2 : 522 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度から「糖尿病保健指導連携体制構築事業」を実施し、看護師の育成とネットワークづくりを行った。</li> </ul> <p>【事業参加者数】 R 1 : 265 名、R 2 : 320 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度から「立志社中」をスタートし、地域と交流を行うなど学生の主体的な地域課題解決活動を促進した。 R 2 : 8 プロジェクト採択</li> <li>高知県産学官民連携センターと連携し、被災者の健康状態等を把握する仕組みについて研究発表をするなど、地域課題の解決に貢献した。</li> </ul> <p>【受託研究、共同研究等】 R 2 契約件数 : 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中・高校生向けの出前講座を実施し、児童・生徒の学問への興味・関心を高めた。</li> </ul> <p>【出前講座実績 (R 2)】</p> <p>派遣教員 : 19 人、受講者数 628 人</p> <p>&lt;社会貢献&gt; (工科大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宇治電化学工業 (株) と「MARIMO (金属酸化物ナノ粒子の多孔球状) 構造体の大量合成法」を確立し、YAMAKIN (株) の「接着力の強い歯科接着剤」の開発に使用されるなど研究成果を商品化につなげることができた。</li> <li>香美市の行政サービスの ICT 化を推進した。</li> <li>香美市の地域課題関連講演会「イブニングセミナー」を開催した。 R 2 : 4 回開催、のべ 3,158 回再生</li> <li>津波到達前の微気圧振動をキャッチする複合型インフラサウンド津波センサーを県内自治体等へ設置し、地域の災害対策に貢献した。</li> </ul>	<p>3 社会貢献の質の向上に関する目標</p> <p>(1) 地域社会との連携に関する目標</p> <p>地域社会との連携を図るとともに、大学の専門性に基づいた社会貢献を推進する。</p> <p>高知県立大学では、地域の現状を踏まえ、域学共生の理念のもとに、健康長寿県づくりや<u>地域の再生・活性化の取り組み</u>など、地域における課題の解決につながる事業を、<u>関係機関や地域住民と協働して推進する</u>。</p> <p>高知工科大学では、地域連携機構を中心に地域や行政との連携を図るとともに、<u>産業の振興やデジタル化の推進など、地域の課題解決に向けた活動、大学の専門性に基づいた社会貢献</u>を推進する。</p> <p>(2) 産学官民連携に関する目標</p> <p><u>産学官民連携センター (ココプラ) や県内の大学等との連携を積極的に行い、産業振興及び地域の課題解決に向けた活動を行う。</u></p> <p>高知県立大学では、<u>関係機関、地域、行政等と連携し、デジタル技術も活用しながら、急激な高齢化が進む高知県の医療・健康・福祉などの課題解決に向けた活動を推進し、地域包括ケアの推進や地域共生社会の実現に貢献する。</u></p> <p>高知工科大学では、<u>関係機関、経済団体、行政等との連携を強化し、蓄積されたデータを活用して産業の高度化を図るなど、専門性や研究成果、デジタル技術を活用した県内企業等の課題解決、産業振興を推進する。</u></p> <p>(3) 社会人の学び直し及び生涯学習の充実に関する目標</p> <p>「知の拠点」として、県民一般を対象とした多様な公開講座や、県民のニーズに対応した生涯学習の機会を提供する。</p> <p><u>特に、高知県立大学では、超高齢化社会への移行など、社会環境の急激な変化に伴う新たな保健・医療・福祉ニーズに対応するため、デジタル化社会・DX 社会の進展を視野に入れて、専門職者に対する現職教育やキャリア形成を支援し、地域に根差した保健医療福祉人材の資質の向上に貢献する。</u></p> <p>(4) 県内外の大学及び高等学校等との連携に関する目標</p> <p><u>高知工科大学の新しい学群の整備にあわせて、県内外の大学と連携し、地域の産業振興に貢献する人材を育成するとともに、未来を担う児童及び生徒の学問に対する興味・関心の向上及び進路選択に資するため、県内外の高等学校等との交流及び連携を積極的に実施する。</u></p>	<p>中期計画において数値目標 (KPI) の設定を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公開講座の開催数、受講者数</li> <li>小中高校への出前授業数</li> <li>県内企業、団体との受託研究数</li> </ul> <p>【<u>「地域貢献」「デジタル化」</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域への貢献について具体的に記載</li> </ul> <p>【<u>※項目の整理</u>】</p> <p>正規生としての社会人教育は「オ 学生の受け入れに関する目標」に、正規生以外は「3 (3) 社会人の学び直し及び生涯学習の充実に関する目標」に整理。</p> <p>【<u>「新学群」</u>】</p> <p>新学群整備による他大学との連携を記載 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span></p>

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点
<p>(5)南海トラフ地震等災害対策に関する目標</p> <p>それぞれの大学の特色を生かして、専門性に基づいた取組を進め、地域の災害対策に貢献する。</p> <p>高知県立大学では、高知医療センターとの包括的連携協定など、専門性を生かした連携を強化するとともに、高度な技術と実践力を備えた災害に強い専門職を養成し、地域はもとより広く国際社会に貢献する。</p> <p>高知工科大学では、地震・津波の自然災害に対し、防災・減災につながる研究成果を公開し、関係機関、行政等と連携して普及を図るなど、地域の災害対策に貢献する。</p> <p>(6) 国際交流に関する目標</p> <p>大学の人的資源及び物的資源を活用し、地域の国際交流に資する活動に貢献する。</p>	<p>・高知県産学官民連携センターと連携し、「企業訪問キャラバン」等を行い、県内企業との連携強化に貢献した。</p> <p>【受託研究、共同研究等】 R2 契約件数：68 件</p> <p>・小・中・高校生向けの出前講座を実施し、児童・生徒の学問への興味・関心を高めた。</p> <p>【出前講座実績 (R2)】</p> <p>訪問件数：49 件</p>	<p>(5)南海トラフ地震等災害対策に関する目標</p> <p>それぞれの大学の特色を生かして、専門性に基づいた取組を進め、地域の災害対策に貢献する。</p> <p>高知県立大学では、高知医療センターとの包括的連携協定など、専門性を生かした連携を強化するとともに、高度な技術と実践力を備えた災害に強い専門職を養成し、地域はもとより広く国際社会に貢献する。</p> <p>高知工科大学では、地震・津波の自然災害に対し、防災・減災につながる研究成果を公開し、関係機関、行政等と連携して普及を図るなど、地域の災害対策に貢献する。</p> <p>(6) 国際交流に関する目標</p> <p><u>それぞれの大学の特色を生かして、専門性に基づき、大学の人的資源及び物的資源を活用し、地域の国際交流に資する活動に貢献する。</u></p>	<p>「グローバル化」</p> <p>大学の特色、専門性を生かして、地域の国際交流に貢献することを記載</p>
<p><b>第3業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p>1 運営体制の強化に関する目標</p> <p>法人及び大学間の連携・協働を進めるとともに、社会の変化や県民のニーズを踏まえ、柔軟な対応ができるよう、理事長及び学長のリーダーシップのもと運営体制の更なる強化を図る。</p> <p>2 法人統合の効果に関する目標</p> <p>法人統合の効果を最大化できる事務組織の在り方を確立する。また、より効率的な事務手続の在り方について、継続的に見直しを行う。</p> <p>3 人事の適正化に関する目標</p> <p>教育研究活動及び大学運営の質を高めるため、任用及び評価、研修、給与等人事の諸制度及び運用方法について、不断の見直しを行う。</p>	<p>&lt;業務運営の改善&gt;</p> <p>・理事長、学長のリーダーシップのもと、規程等の統一(財務システム、文書管理システム、勤怠管理システム、グループウェア)が進んだ。</p> <p>・事務職員については、「初任者研修プログラム」などの研修を実施し、職員能力を向上させた。</p> <p>・教員については、有識者を招いた勉強会や研修会を実施し、能力を向上させた。</p> <p>・教員の評価制度を見直し、適正な運用を行った。</p>	<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p>1 運営体制の強化に関する目標</p> <p><u>理事長及び学長の適切な役割分担の下、それぞれの責任において連携し、ガバナンスの強化を図り、機動的かつ効率的な大学運営を推進する。</u></p> <p>2 法人統合の効果に関する目標</p> <p><u>法人統合の効果を最大限に発揮するため、法人全体での研修の実施などにより、事務職員の能力開発を行うとともに、規程の統一やデジタル技術の活用などを推進し、一層効率的な業務遂行を図る。</u></p> <p>3 人事の適正化に関する目標</p> <p>(1) <u>質の高い教育研究活動及び機動的な大学運営を行うため、計画的に人材の確保、任用・登用を行う。また、事務職員については、大学間の人事交流を積極的に進めるなど、適材適所の人材配置を行う。</u></p> <p>(2) <u>人事諸制度を適切に運用するとともに、大学を取り巻く環境の変化等に応じて、必要な見直しを図る。</u></p>	<p>「ガバナンス強化」</p> <p>ガバナンス強化により、機動的かつ効率的な大学運営を推進することを明記。</p>
<p><b>第4 財務内容の改善に関する事項</b></p> <p>1 自己収入の増加に関する目標</p> <p>教育研究活動等の活性化のため、競争的資金、共同研究資金及び受託研究資金の受入れ等、自己収入の増加に努める。</p>	<p>&lt;財務内容の改善&gt;</p> <p>・説明会や勉強会を開催するなど様々な取組を行い、外部資金の獲得に努めた。</p> <p>【受託研究・協働研究・補助金】 H29～R2</p> <p>・県立大：のべ49件、324,623千円</p> <p>・工科大：のべ304件、1,086,834千円</p>	<p><b>第4 財務内容の改善に関する事項</b></p> <p>1 自己収入の増加に関する目標</p> <p>教育研究活動等の活性化のため、競争的資金、共同研究資金及び受託研究資金の受け入れ等、自己収入の増加に向けた取組を強化する。</p>	<p>中期計画において数値目標 (KPI) の設定を検討中</p> <p>・外部資金の獲得額</p> <p>「ガバナンス強化」</p> <p>ガバナンス強化により、自己収入の増加に向けた取組を強化することを記載</p>

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点
<p>2 経費の執行管理に関する目標 適切な予算管理を通して、常に財務状況を把握及び分析し、予算の効果的かつ適正な執行に努める。</p> <p>3 資産の運用管理の改善に関する目標 法人の資産の適切な管理を行うとともに、その有効活用を図る。</p>		<p>2 経費の執行管理に関する目標 適切な予算管理を通して、常に財務状況を把握及び分析し、予算の効果的かつ適正な執行に努める。</p> <p>3 資産の運用管理の改善に関する目標 資産の適切な管理を行うとともに、その有効活用を図る。</p>	
<p><b>第5 自己点検及び評価並びに情報公開等に関する目標</b></p> <p>1 自己点検及び評価に関する目標 教育研究活動及び業務運営について、自己点検及び評価を定期的に実施するとともに、第三者機関による評価を受ける。</p> <p>2 情報公開等に関する目標 広報活動を充実させるとともに、教育研究活動及び業務運営について、広く県民の理解を得るため、積極的に情報公開を行う。</p>	<p>&lt;自己点検、評価、情報公開等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPや広報誌、SNS、プレスリリース等による情報発信を積極的に行った。</li> </ul>	<p><b>第5 自己点検及び評価並びに情報公開等に関する目標</b></p> <p>1 自己点検及び評価に関する目標 教育研究活動及び業務運営全般について、自己点検及び評価を定期的に実施するとともに、第三者機関による評価を受け、<u>これらの評価結果を積極的に公表して改善を行う。</u></p> <p>2 情報公開等に関する目標 社会に対する責任を果たし、<u>県民はもとより広く一般の理解を得るため、教育研究活動並びに業務運営全般に関する情報について、ホームページや広報冊子、講演等を通じて積極的に公表する。</u></p>	<p>【中期計画において数値目標（KPI）の設定を検討中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスリリース件数</li> </ul> <p>「ガバナンス強化」 ガバナンス強化により、積極的に情報公開を行うことを記載</p>
<p><b>第6 その他業務運営に関する重要事項</b></p> <p>1 施設及び設備の整備、活用等に関する目標 良好な教育研究環境を確保するため、既存の施設及び設備の機能保全及び維持管理を計画的に実施するとともに、施設及び設備の有効活用及び充実を図る。</p> <p>2 安全管理に関する目標 安全で安心な学修環境及び教育研究活動を確保するため、大学内の安全管理体制の充実を図るとともに、南海トラフ地震対策も含め、適切な防災・防犯対策を講ずる。</p> <p>3 情報管理に関する目標 法人内の情報通信システムの強化を図るとともに、法人・大学が保有する学生、職員等の個人情報について、適切に管理し、保護する。</p>	<p>&lt;その他重要事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学生寮整備やトイレ洋式化、エアコン更新などの環境整備や防災計画策定などの安全確保に取り組んだ。</li> <li>・人権研修や研究倫理研修を実施し、コンプライアンス体制を強化した。</li> <li>・防災計画の策定や見直し、3キャンパス合同避難訓練を行い、防災力を向上させた。</li> <li>・研修の実施や不正な通信を遮断する装置の活用などセキュリティインシデントの発生を未然に防ぐ体制を整えた。</li> </ul>	<p><b>第6 その他業務運営に関する重要事項</b></p> <p>1 施設及び設備の整備、活用等に関する目標 <u>学生等が魅力を感じる良好な教育研究環境を確保するため、中長期修繕計画等の策定により、既存の施設設備の機能保全・維持管理を計画的に実施する。</u> <u>また、高知工科大学における新学群設置に向けては、最少の経費で最大の効果をあげられるよう必要な整備を行うとともに、新学群の施設整備が想定される永国寺キャンパスについては、法人のマネジメントのもと、効果的・効率的な施設・設備の運用を図る。</u></p> <p>2 安全管理に関する目標 <u>(1) 安全で安心な学修環境及び教育研究活動を確保するとともに、学内の安全管理体制充実を図る。</u> <u>(2) 南海トラフ地震対策も含め、適切な防災・防犯対策を講ずる。</u></p> <p>3 情報管理に関する目標 <u>先進的技術及び情報環境の充実を図るとともに、保有する全情報資産及び学生、職員等の個人情報・機密情報を確実に保護するため、情報セキュリティ対策を強化する。</u></p>	<p>【中期計画において数値目標（KPI）の設定を検討中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練回数</li> </ul> <p>「新学群」 新学群検討会報告書の内容を記載</p> <p>「ガバナンス強化」 ガバナンス強化により、情報セキュリティ対策を強化することを記載</p>

第2期中期目標	第2期中期目標 (H29～R2 までの4年間) の総括	第3期中期目標案	第2期からの主な変更点
<p>4 人権尊重及び法令遵守に関する目標</p> <p>各種ハラスメント等の防止に努めるとともに、社会的信頼性及び業務遂行の公正性を確保するため、コンプライアンス推進体制の充実を図る。</p> <p>5 環境保全等に関する目標</p> <p>法人の社会的責務として環境保全に努め、持続可能な社会の実現に貢献する。</p>		<p>4 人権尊重及び法令遵守に関する目標</p> <p><u>(1) 各種ハラスメント等の防止を推進する。</u></p> <p><u>(2) 教職員のコンプライアンスを徹底し、適正な業務管理や公正な研究の実施を推進する。</u></p> <p>5 環境保全等に関する目標</p> <p>社会的な責務として環境保全に努め、<u>環境への負荷を低減する取り組みを推進し</u>、持続可能な社会の実現に貢献する。</p>	<div data-bbox="2220 212 2819 365" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>「ガバナンス強化」「コンプライアンス徹底」</b></p> <p>ガバナンス強化によるハラスメント等の推進とコンプライアンスの徹底を記載</p> </div> <div data-bbox="2220 449 2819 623" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>「グリーン化」</b></p> <p>環境への負荷を軽減する取り組みを推進することを明記</p> </div>